

JaMITAC 理事 伊藤美奈子

演題名：

今後益々必要かつ重要になる『オンライン診療シミュレーション教育研修』

抄録本文：

JaMITAC は、20 年以上にわたり、医療者向けに、シミュレーションによる総合的医療面接教育研修を提供してまいりました。

近年、Covid19 の影響から、世の中で、リモートが一般化していく中、第四の診療形態としてのオンライン診療が注目されてまいりました。

訓練されたオンライン模擬患者を登用して、身近な場面、起こりうる場面を設定し、模擬患者は、その当人になりきり、医師とのオンライン診療に臨みました。

それぞれの症例について、きめ細やかな設定で、どうすれば、よりよいオンライン診療を受けることができるかを示唆したものが出来上がりました。

医療者は、オンライン診療で、どのように対応すると、患者さんとスムーズなコミュニケーションがとれ、しっかり鑑別診断ができるか。どのように患者さんを導いてリスクを回避し、しっかりと診察ができるかがわかるように、先生方と作り込みました。

患者さん達も、この動画から、オンライン診療では、どんな診察を受けることができるか、どのように不安を解消できるか、どのように医療者に対応してもらえるかを学ぶことができます。

そして、オンライン診療は、いかに患者にとってよいものか、便利に活用できかを実感してもらえenと思います。

本講演では、それぞれの症例のポイントについて、対話形式でお話を進めさせていただきます。

- ① 子供の風邪 オンライン診療で会話する母親のケース。母親は、どう対応すべきかを医者に教えてもらい、ひとまず安心。
- ② おとなの高血圧 自宅外での対応。長期出張中での かかりつけ医のオンライン診療はとてもありがたいもの。
- ③ 55 歳女性 発熱と咳のケース 仕事に責任のある立場の社長さん。体調不良の際、オンライン診療で診てもらえるのはとても助かる。
- ④ 30 歳 軽度コロナ患者のケース 倦怠感の強い若い在宅療養者。その際、オンラインで継続的に治療を受けることにより、不安が軽減できる。